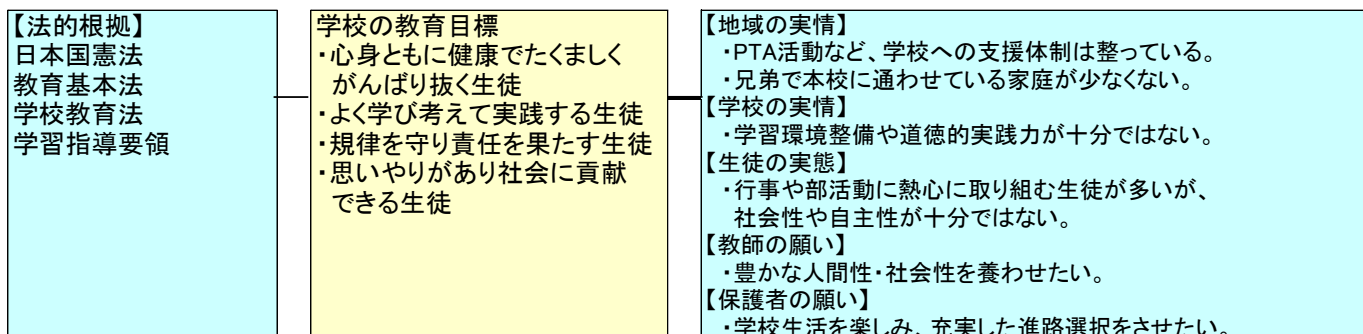
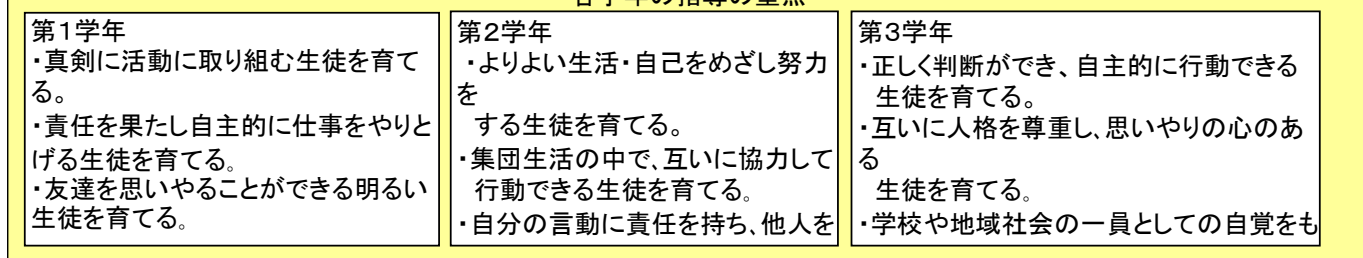




学校の道徳教育の重点目標

・教育活動全体で道徳的な判断力・態度・心情などが養えるように計画を立てて推進する。
 ・道徳の時間の効果をあげるため、資料の収集とその活用法の研修をし、道徳の実践力を
 高めるようにする。

各学年の指導の重点



各教科

国語 言語環境を整え、適切に表現する能力を育 成し、伝え合う力を高めるとともに思考力を
社会 民主的・平和的な国家・社会の形成者とし て必要な公民的資質の基礎を養う。
数学 客観的・理論的な思考力や数理的に考察
理科 生命を尊重する態度の育成を図るとともに、 科学的に調べる態度と科学的な見方や考
音楽 日本の伝統文化に対する理解や芸術的感 性を高め、豊かな情操を養う。
美術 豊かな個性や想像力を発揮して芸術的感 性を高め、豊かな情操を養う。
保健体育 心身の調和的な発達を目指し、協力・公正 の態度を育てるとともに、生涯スポーツ
技術・家庭 生活を工夫し創造する能力と実践的な態 度を育て、世界に誇る日本のものづくりの
外国語 積極的にコミュニケーションを図ろうとする 態度や実践力を育成し、国際社会に柔軟

特別の教科 道徳

各学年の重点内容項目 1年 集団生活の向上 2年 生命尊重 3年 共生・感謝 3年間を通じて 役割と責任
指導方針 ・自律の精神を高めること が自己の未来を拓く力にな ることを意識させる。
指導の工夫 ・生徒にとって身近な題材 を扱うことで興味・関心を持 たせる。 ・特別活動等での体験的な 活動と関連させた教材を考 える。 ・1単位時間でのねらいを

特別活動

学級活動 ・学級指導を通して言語環境を整えるとともに、生徒 が健康づくりの観点から日常生活を顧み、基本的生 活習慣の形成がなされるように図る。
生徒会活動 ・自主的・主体的な活動ができる態度を育成する。 ・集団生活の中で責任ある行動のできる生活態度を育 成する。
学校行事 ・集団の一員としての自覚を高め、自主的・実践的 活動のできる生徒を育成する。
総合的な学習の時間 ・自己の生き方について探求する態度を 養う。 ・職場体験学習を通じて、社会に貢献しよ うとする精神を育む。
読書科 読書活動を通して多様な考え方を身につけ、豊かな

生活指導

基本的生活習慣の確立を
 図る。具体的には「挨拶を
 する」「時間を守る」「清潔・
 整頓を心がける」「言葉遣

環境整備

言葉遣い・態度
 に気をつけ、生
 活環境の整備を
 はかる

家庭・地域との連携

・公開授業や道徳公開講座および協議会
 ・学校・学年・学級・PTAだより、ホームページ
 ・清掃や美化の地域での活動、ボランティア
 活動

推進体制

校内分掌において道徳指導担当
 を明確に位置づけ、その主任教
 諭を中心に教材を選定する。学年
 毎に共通した指導の充実を図る。